

第 3 回長崎サミット・共同コミュニケ

松藤 悟	長崎商工会議所会頭	中村 法道	長崎県知事
宮脇 雅俊	長崎経済同友会代表幹事	田上 富久	長崎市長
相馬 和夫	長崎県経営者協会会長	片峰 茂	長崎大学学長
塚根 進	長崎青年会議所理事長		

人口減少等地域経済の衰退に歯止めをかけるべく立ち上がった「長崎都市経営戦略推進プロジェクト」は 4 つの基本的考え方・基本戦略（重点化[外貨獲得施策の重点推進による長崎地域の経済活性化]、PDCA、連携、広報）を柱に 2 年余にわたって活動し、推進体制の整備も概ね進み具体的成果を追求できる状況になった(第 1 ステージ)。

本プロジェクト推進の中核にある「長崎サミット」はこうした現在のプロジェクトの推進状況、加えてグローバル化に伴う競争激化、地域間競争の増幅等現下の激しい経済環境の変化を踏まえ、10 年後の定性・定量目標の必達を目指して、これからの 3 年間で、重点施策を成果に結びつける重要なステージ（経済基盤を作り上げる第 2 ステージ）と位置づける。そして、今回の第 3 回長崎サミットを本プロジェクトの節目と認識し、10 年にわたるプロジェクトの中間地点となる 3 年後の姿を、

人が集まりモノが動く活力あふれる経済基盤を備えた都市と定義し、これまで以上にリーダーシップを発揮し、本プロジェクトを成功に導くことを決意する。

そのために、当面、以下の次項を重点に活動する。

1. 具体化してきた推進策の成果追求

第 2 回までの長崎サミットで確認した事項を「長崎都市経営戦略推進会議」、「同ワーキングチーム」で検討および推進活動を実施した結果をもとに、下記 10 項目を最重点推進項目として確認し、掲げた成果を得るべく、ワーキングチームの下に活動具体化のための専門家による小委員会を設置し工程表策定と実践・推進を図るなど、精力的に活動を行う。

最重点推進事項

◇客船連続建造に向けての環境整備の促進及び地場中小製造業の受注・供給体制の整備

◇地場中小製造業の技術開発・連携、新技術・新商品の積極的サポート

◇客船建造などの産業観光の充実

◇SEA-NAGASAKI（仮称）の 2014 年開催（客船、クルーズ、造船の見本市）

・開催に向けた推進検討委員会の 8 月設置と活動展開

◇観光推進 10 年プロジェクトの推進と体制整備

（小委員会の設置、観光関係者打合せ会合の充実、等）

・長崎～上海航路の就航・定着化、クルーズ客船の拠点化

・総おもてなし運動の推進・定着

・まつり・イベントの拡充（出島とくんち・ランタン連携等）

・コンベンション施設充実による M I C E 拡大（施設設置検討委員会の設置）

次葉へ続く

- ◇練り製品の販路・生産拡大
- ◇産学官一体となった留学生支援態勢の構築（留学生 3000 人委員会による推進）
- ◇産学官連携活動への具体的支援
- ◇大学の国際的研究拠点化
- ◇基盤整備に向けた活動推進
 - 総合特区の指定
 - 長崎港におけるシームレス物流（国際高速物流）の構築
 - 新幹線西九州ルート延伸の認可・着工
 - 世界遺産登録の推進

2. より幅広い活動の展開

これまで、以下参考の通り活動をしてきたが、まだ対応すべき課題が多い。特に幅広い市民参加は本プロジェクトの定着の有無にもつながる重要事項との指摘もあっており、積極的な対策を進める。

最重点推進事項

- ・観光分野での青年団体、女性団体、市民活動グループとの活動分担
- ・本プロジェクトの関係団体構成員との更なる幅広い認識の共有
- ・2011年12月、市民1000人対話集会（「自らが動こう」）を開催
- ・2011年9月、「基幹製造業事業説明会」を開催し、関係団体等とのつながりを強化
- ・推進活動のPDCAの更なる強化（週初開催のコアミーティングの拡充）
- ・財政を始めとする中長期的な運営基盤づくり

参考 第2回長崎サミット以降の主な活動経緯

- ・2011年3月 市民との対話集会開催
- ・若手活動団体・市民活動家等とのコミュニケーション
- ・2011年4月 専担事務局設置とPDCA体制の再構築（関係者による定例PDCA）

3. 県内他地域との活動連携

本プロジェクトは、まず長崎地域の経済活性化活動を手始めに、将来的にこうした活動が県下全域に広がり、相乗的な経済活性化を展望してきた。佐世保地域を始めとする県下他地域の経済団体との意見交換等を実施してきたが、更に共同・連携による活性化活動を進める。

最重点推進事項

- ・各地域への本プロジェクトの説明等による啓発活動
- ・県内他地域と連携するテーマの協議

4. 次回（第4回）長崎サミット実施日程

上記推進実績の確認および今後の対応方針の協議を次の日程で行う。

平成24年2月1日（水）9:30～12:00

長崎都市経営戦略推進プロジェクトの推進における流れ

～2011年7月

2011年8月～14年7月

2020年

推進体制づくりの第1ステージ

- 現状分析と問題提起及び提言
- ☆「都市経営戦略策定検討会」発足 (2009年8月)
- ☆「みんなでつくろう元気な長崎」を提言 (10年5月)
- 「長崎都市経営戦略推進会議」発足 (10年7月)
- 第1回長崎サミット開催 (10年7月)
- ワーキングチームで具体的活動方針(アクションプラン)の策定と推進 (10年11月以降)
- 第2回長崎サミット開催 (11年1月)
- 専担事務局設置 (11年4月)
- PDCA体制の構築 (11年4月)

経済基盤を往上げる 第2ステージ

3年間の目標

人が集まりモノが動く活力あふれる経済基盤を備えた都市

人が集まる
モノが動く

「造船(技術)の町」長崎の再構築

客船連続建造に向けての環境整備の促進及び地場中小製造業の受注・供給体制の整備

地場中小製造業の技術開発・連携、新技術・新商品の積極的サポート

総合特区の指定

長崎港におけるシームレス物流の構築

新幹線延伸の認可・着工

客船建造などの産業観光の充実

SEA-NAGASAKI(仮称)の14年開催(客船、クルーズ、造船)

「国際(アジア)観光の町」長崎の構築

観光推進10年プロジェクトの推進

長崎～上海航路の就航・定着化、クルーズ客船の拠点化

総おもてなし運動の推進・定着

まつり・イベントの拡充
出島とくんち・ランタン連携等

コンベンション施設充実によるMICE拡大

世界遺産登録の推進

「アジアの学都」長崎の構築

産学官一体となった留学生支援態勢の構築

大学の国際的研究拠点化

産学官連携活動への具体的支援

「水産の町」長崎の強化

練り製品の販路・生産拡大

水産人材育成など水産業の基盤強化推進

市民・地域との連携

基幹製造業の事業説明会定例化、市民1000人集会開催、おもてなし運動の若手・市民等による推進、他地域の連携事業推進

世界に、日本に誇る
国際都市長崎

☆「造船(技術)の町」長崎

- アジアの大型客船建造拠点都市
- 日本一の造船関連技術集積都市

☆「国際(アジア)観光の町」長崎

- 九州一の外国人観光客誘致都市
- 日本一のクルーズ船停泊港
- 九州一の祭り都市
- 九州一の国際物流拠点都市
- 世界遺産登録都市
- 日本のアジア観光ゲートウェイ
- 日本一の食文化都市

☆「水産の町」長崎

- 日本一の食文化都市
- 日本一の水産関連企業集積都市

☆「アジアの学都」長崎

- 日本有数のアジア留学生拠点都市
- 世界一の研究分野拠点都市